

2022年鈴鹿サンデーロードレース第6戦 参戦報告書

アドバンス勢がベテランライダーと堂々の勝負を繰り広げた!
ラストラップまでトップを競った岡田陽大がナショナルクラスを制す!

9月18日(日) 公式予選 9:00~9:10 ©天候・路面:Rain/Wet

#21岡田陽大 予選1位 1'01.470 #44高平理智 予選3位 1'02.507
#12豊田哲慎 予選6位 1'03.244

2か月以上のインターバルを経ての開催となった鈴鹿サンデーロードレース第6戦。折しも台風14号が日本列島に接近しており、時おり強い風が吹く状況下でのレースとなった。Team HRSのライダーが参戦するJ-GP3クラスの予選セッション直前、東から流れてきた雨雲が路面を濡らし、乾きつつあった路面はフルウェットとなった。そのためJ-GP3クラスに参戦する全車はレインタイヤでの出走となった。Team HRSは#44高平理智、#21岡田陽大、#12豊田哲慎の順でコースイン(#7松岡純音は練習中のけがにより出走を取りやめている)。

高平、岡田は2台連なってタイムアップを狙い、豊田は単独でペースを上げていった。高平、岡田ともに順調にタイムを縮めていったが、7周目の1コーナーで高平がクラッシュ。また7周目に全体のトップとなる1分01秒470を記録した岡田も9周目の2コーナーでスリップダウンしてしまった。岡田はコースに復帰はできなかったものの、このタイムでポールポジションを獲得。高平も転倒までに3番手タイムを記録しており、フロントローにマシンを並べるようになった。豊田は6番手、2列目から上位を狙っていく。

9月18日(日) 決勝レース(東コース12周) ©天候・路面:Cloudy/Dry

#21 岡田陽大 総合2位/ナショナル1位/NSFチャレンジ1位
#12 豊田哲慎 総合5位/ナショナル3位/NSFチャレンジ3位
#44 高平理智 総合6位/ナショナル4位/NSFチャレンジ4位

ポールポジションからスタートした岡田は予選2番手の金子選手に先行されそうになりながらも1コーナーに首位で飛び込んだ。高平は3番手、豊田は絶妙なクラッチミートで4番手に浮上する。オープニングラップは岡田がトップだったが、その直後のストレートで金子選手が岡田をパス。だが岡田も金子選手の背後にピタリとつけて首位奪還をうかがう。2周目を終えた時点の順位はトップに金子選手、2番手に岡田、3番手豊田、4番手に高平と続く。岡田と金子選手はハイペースで首位争いを展開し、後続を徐々に引き離していった。

そしてラストラップのストレート、首位を走る岡田は金子選手に先行を許してしまう。その直後の1コーナーで岡田は金子選手をアウトから抜きにかかると、ラインを外してしまい、金子選手との差が開いてしまった。岡田は必死で金子選手に追うものの、逆転はかなわず、0.365秒差で総合2位となった。高平、豊田は3番手集団の中でバトルを繰り広げるが、やがてポジションを落としてしまい、豊田が総合5位、高平は総合6位でチェッカーを受けている。



2022年鈴鹿サンデーロードレース第6戦 参戦報告書

ナショナルJ-GP3クラス:

予選1位 決勝総合2位(ナショナル1位/NSFチャレンジ1位)

岡田陽大(おかだ ひなた) 15歳

『サーキット入りした金曜日に自己ベストタイムを更新できて、土曜日にも自己ベストタイムの55秒台付近で走行できました。いい流れで来ていたんですが、予選は雨になり、2コーナーで転倒してしまいました。いい流れが変化してしまいました。ポールポジションは取れましたが、転倒してしまったので、その点では反省しています。この先アジアタレントカップのセレクションが控えていることもあり、決勝ではぶっちぎりの総合優勝を目標としていました。とはいえ、いざレースが始まると、自分のベストとは程遠いタイムで、(優勝した)金子さんのペースにも飲まれてしまいました。予選が雨だったため、決勝ではすぐに自分のドライのペースを作れなかったことも反省点です。また今回は冷静さも欠いていて、レース中周回数を忘れてしまいました。周回数をしっかり把握できていれば、残り2周でしっかり金子さんの後ろについて、最終ラップで前に出られたのかもしれない。悔しいレースでした』



ナショナルJ-GP3クラス:

予選6位 決勝総合5位(ナショナル3位/NSFチャレンジ3位)

豊田哲慎(とよだ てっしん) 15歳

『今回のレースではタイムの頭打ち感がありました。流れという面では少し悪かったと思います。予選は焦らず徐々にタイムを上げようかと思いましたが、ラスト3周くらいで前に引かかってしまい、狙っていたフロントローには並べず、何とか2列目という状況でした。ペースはもう少し上げられたと思いますし、他のライダーに詰まってしまったのも反省点です。決勝スタートは毎回あまりうまく決まらないのですが、上田先生のアドバイス通りにしたら過去最高と言えるくらい上手く決まりました。高平選手も抜くことが出来ましたが、そこからは良くなかったです。S字では転びそうになるくらいマシンが暴れる状況で、思うようにペースが上げられませんでした。今回こそは優勝を狙っていたのですが、この結果は悔しいです。やはり予選でフロントローに並ばないと優勝は難しいです。今日のレースをしっかりと振り返り、今回良かった点はさらに伸ばし、ダメだったところはしっかりと改善して次のレースに臨みたいです』



ナショナルJ-GP3クラス:

予選3位 決勝総合6位(ナショナル4位/NSFチャレンジ4位)

高平理智(たかひら りいち) 13歳

『予選では5番手くらいのタイムだと思っていましたが、自分が思った以上にタイムは良く、フロントローに並ぶことができました。ですがタイムを出した次の周に転倒してしまいました。オーバースピードでコーナーに入ったことで、白線に乗ってしまったのです。決勝ではスタートでミスをして前に出られませんでした。1周目は3番手で走りましたが、豊田選手に前に進んでからは順位をさらに落としてしまいました。レースの序盤からトップ集団にベタ付けできれば良かったと反省しています。またコーナーでうまく向きを変えられず、どんどん遅れてしまいました。そこも今後改善しないとイケません。フルコースであれば西で挽回する自信はありましたが、苦手意識がある東もしっかり走れるようになりたいです』



2022年鈴鹿サンデーロードレース第6戦 参戦報告書

岡田忠之 Principal

『今回岡田は練習から好調でした。レースに対する意識が向上したことが大きな理由だと思います。現代の子供たちにとって、ハングリー精神や負けたくない気持ちはとても重要です。いろいろな誘惑に彼らが惑わされないよう、こちらも気を付けて指導しないとけません。岡田は最終ラップ、ミスによって前のライダーとの差が広がってしまいましたが、それもメンタルが原因でしょう。彼にとって今回のレースはいい勉強になったとは思いますが、今後同じ失敗をしないためにはどうすればいいのかということ、シーズンが終わるまでにしっかりと考えてもらいたいですね。高平のペースが上がらなかったのは、台風による風の影響なのかもしれませんが、自分自身がもっと自発的に、準備など、レースに向き合う時間をより多く作らないといけません。レースに対する欲、勝ちたいという欲をもっと持ってほしいですね。豊田も今回は強い風の影響で、S字で振られるなどしてペースを上げることができませんでした。彼は準備も早いですし、すべての準備を前もって早く終わらせるようになってきました。以前は控えめな印象でしたが、今はレースに対する積極性が出てきているようです。あとはコース上でその速さと気持ちの強さがかみ合えば、よりいい結果を残せるでしょう。雨に対して苦手意識がありますが、マシン操作は丁寧なので、練習と経験を重ねることでいずれ雨にも慣れると思います。

今回は松岡が練習走行でケガをしてしまいました。このスポーツでは、注意力、集中力が一瞬でも切れると非常に危険です。この点に関してはあらためて生徒全員に注意を促しました』

